

## 平成 28 年 3 月期月次景況調査結果

この調査結果は、中小企業庁の指定事業に基づいて設置された山口県内の情報連絡員 60 人に、本会が新たに選んだ 20 人を加えた 80 人の連絡員より業界動向を把握した結果です。

3月の業種別景況の前年同月比DI値は、13業種の内、木材・木製品と輸送機器、小売業のみが好転し、先月は好転していた一般機器とサービス業は悪化している。他の業種は依然として低迷傾向にある。

景況感の悪化や年度末の需要の動きが鈍化していることに加え、販売価格の低迷やコスト高が収益を圧迫している状況も改善しておらず、設備投資や個人消費が低迷する中、慢性的な人手不足もあり中小企業の先行き不透明感は増大している。

### 山口県の主要指標 DI 値（平成 28 年 3 月末現在）

※DI値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、好転： 2.5% 悪化：41.3% DI値：▲38.8% ポイント

売上高（〈増加〉－〈減少〉＝〈DI値〉）

前年同月比は、増加： 10.0% 減少：46.3% DI値：▲36.3% ポイント








収益状況（〈好転〉－〈悪化〉＝〈DI値〉）


前年同月比は、好転： 8.8% 悪化：37.5% DI値：▲28.7% ポイント

### 山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（平成 28 年 3 月末現在）

 30 以上	 30 未満～ 10 以上	 10 未満～ ▲10 以上	 ▲10 未満～ ▲30 以上	 ▲30 未満
--	--	---	--	---

食料品	織 維 工 業	木材・ 木製品	印 刷	窯業・ 土石製品	一 般 機 器	輸 送 機 器	全 製 造 業
▲42.9	▲25.0	▲33.3	▲100.0	▲83.3	▲22.2	50.0	▲39.4
							

卸売業	小売業	商店街	サービ ス 業	建設業	運輸業	全 非 製造業
▲40.0	▲33.3	▲75.0	▲25.0	▲30.0	▲57.1	▲38.3
						

全 体
▲38.8


特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	<p>少子化の影響で桜餅の慶祝需要が年々減少している。卒業記念品も私立高校が大半で公立は予算が無いとの事。依然として萩地区は前年比で売上が激減している。</p>	パン・菓子製造業
	<p>2月是对前年同月比▲9.2%。3月は3/25時点で対前年同月比▲10%程度的大幅ダウンが続く。大河ドラマ効果がほぼ無くなり、前々年の水準に戻った。今後も前年ダウンの傾向が続くと予測されるが、パブリシティ露出強化など対策を講じて行く。4月以降にも日本TV系の全国放送番組に登場予定。国交省「全国モデル駅」の認定効果もあり、今年度の行政視察団の受入実績が先週で100件を越えた。</p>	水産食料品製造業 萩市
	<p>商品の動きが鈍い。</p>	水産食料品製造業 下関市
	<p>アメリカ大統領選も不透明な状況の中、アメリカ政府はTPPの議会承認について、先送りする予定のようであるが、日本政府は今国会で強引に成立させたい様子。TPPの大筋合意締結の影響のせいか、お米の価格が下落傾向となっているので、農村現場に影響が出ないよう円滑な対策が必要だと考えている。</p>	精穀・製粉業
繊維工業	<p>主力販売取引先の受注増により5月末まで受注あり、1月からのキャンペーン効果が3月現在まで継続中。実習生受入は、現在、中国人32名、ベトナム人23名の計55名。ベトナム人実習生の通訳を募集中。採用まで、派遣会社の通訳を3ヶ月間契約した。</p>	下着類製造業
	<p>稼働している事業所では人員を増員している。デパート等が日本製繊維製品の販売を強化している。</p>	外衣・シャツ製造業 山口市
	<p>仕事はコンスタントにある。賃金は上がっているのに加工賃が上がらないため、ギリギリの経営状態。</p>	外衣・シャツ製造業 下関市
木材・木製品	<p>新設住宅着工戸数は昨年並みの水準で推移。木材価格は変動がない。</p>	製材業・木製品製造業 山口市
	<p>相変わらず低調で、特に大きな変化はない。</p>	製材業・木製品製造業 下関市
印刷	<p>収支改善の施策として、諸経費の見直し、人員の削減、生産の集約、業務フローの改善、外部発注の内製化等あらゆる手段でコストダウンに努めているが、業界縮小のスピードも早く後手にまわる様相。</p>	印刷 下関市

	<p>売上の急激な低下が怖い。</p> <p>年度末ではあったが、昨年と比べると仕事量も減り、あまり忙しくない日が続いた。年度当初は仕事も激減するので不安である。</p>	印刷 山口市
窯業・土石製品	<p>公共工事がほとんどなくなり民間の工事が少し入る程度で、厳しい状況がまだまだ続く模様。</p> <p>(平成27年3月) 骨材100%、路盤材120%、再生材119%</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>(平成28年3月) 骨材 70%、路盤材107%、再生材 77%</p>	砕石製造業
	<p>出荷量は、前月比137%、前年同月比91%。4月から2月の出荷量は対前年比で97%であり、このまま推移すると、本年度出荷量は昨年度をやや下回る見込み。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。</p>	生コンクリート製造業
	<p>春のお彼岸を過ぎて、「墓石のずれや傷が気になる。」等の問い合わせがあった。加工出来るというメリットを活かして誠実に対応したい。</p>	石工品製造業
一般機器	<p>3月の景況は組合員企業により良し悪しがあるが、相対的にはマイナス部分が多い。①マイナス金利でもあるので設備投資の計画はしてみるものの、先行き不安から踏み切れないでいる。②3月決算の企業が多いが、株価の安値傾向で含み損があるのではないかと思われる。③一部企業で4月以降の国内外ともに受注が無く、今後が案じられる。</p>	一般機械器具製造業 防府市
	<p>機械検査、機械加工関係の下請企業の受注に陰りがみられ残業が減っていたが回復の兆しあり。惣菜、鋳造、自動車関係は好調で残業も多く、組合としては36協定の遵守を指導している。食品加工、スーパー、食肉加工業、溶接関係、惣菜、自動車整備、自動車関連から派遣を活用しているが、人材の確保が困難なため、外国人技能実習生の増員や新規相談がある。特に、国の制度改正が継続審議になった介護事業者からの問合せが増えている。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>売上高は微増している。</p>	一般機械器具製造業 宇部市
	<p>金型の設備操業度は2月度と同等で、受注低迷の状況。3月に入り若干受注確定分の仕事が入り短納期で対応している。商談件数は有るものの価格が厳しく、すんなりと受注出来ない状況。また、金型を出荷しても客先実機にてサンプリング、評価でOKの後で表面処理等が入るので、すんなりと検収とならない。現在は、試作金型が多く試作に立ち会って評価してもらい量産金型の受注を期待しているところ</p>	特殊産業用機械製造業

	<p>ろ。4月に入ると金型数は少ないが、短納期での受注となり忙しくなりそうである。成形製品の生産状況は、過去から3月は、客先の年度末の在庫調整等の影響で受注が伸びなやむ傾向であったが、今年は平日稼働日数が昨年より多く受注が増加。しかし4月以降、先が読みにくい状況。</p>	
輸送機器	<p>鉄道車両・精密加工部門とも堅調な作業量を維持している。車両は来期後半から増産の勢いが増す見込み。一方精密加工は来期前半までがピークで後半は少し落ち込むと予想。</p>	鉄道車両・同部品製造業
	<p>人材不足。</p>	船舶製造・修理業
卸売業	<p>海苔の生産時期が終了に近づいている。通常は価格の低い海苔が今年は8円以上の高値で推移した結果、売上が昨年同月より6.8%の増加となり、入荷も3%増加した。残り2回の入札に期待をしている。</p>	乾物卸売業
	<p>天然の“ふく”は多かったが、養殖の“ふく”はこのまま数量が無く高値のままシーズンを終えそうである。鮮魚は魚種が限られており、商材が少ないため、先が読めない状況である。</p>	生鮮・魚介卸売業
	<p>子供服では少子化の影響もあり、今年は例年に比べてあまり売上が上がらないとのこと。</p>	各種商品卸売業 防府市
	<p>景況感が良いと感じないが、若干物資の動きが多くなった。</p>	各種商品卸売業 山口市
小売業	<p>ほとんどのお店の売上が微減している。メーカー直営やインショップの店では決算セール等のイベントを実施していれば、前年と同等ぐらいである。各メーカーより新商品の発売があったが、好調な店と不調な店とに分かれている。</p>	化粧品小売業
	<p>地方の小売商店はギリ貧状態。よくなる兆しは見えない。売上増加を諦めている事業所もあり、現状維持が精一杯の状態。事業主も顧客も高齢化し、顧客が老人施設等に入ると来店がなくなるという顧客の自然減が続いている。少子高齢化が進む限り改善の見込みはない。地区の中小企業者は消費税が気がかりで、来年4月に10パーセントになるかどうか、今後の景気動向に多大な影響となる。ガソリン等燃料の値下がりで一安心している。看護師やヘルパーなど職員の確保に苦勞している施設が多くなっているが、これが賃金の上昇につながっており他業種にも波及している。</p>	各種商品小売業岩国市
	<p>銀南街商店街では、市道とアーケードのリニューアル完成イベントを開催した。</p>	各種商品小売業 周南市

	個人消費が低迷している。加えて大型ショッピングセンターの影響で売上高が伸びない。	各種商品小売業 山口市
	ディスカウント店の出店に伴い売上は対前年同月比アップが続いていたが、3月については売上、客数共に前年を下回り厳しい状況が続いている。又、3月10日付けで組合員（クリーニング業）が急遽退店という状況になった。	各種商品小売業 長門市
商店街	衣料品は不振が続いているが、雑貨・化粧品類の売上は増加傾向。気温上昇もあり商店街への来街者も増加傾向だが、売上増には結びついていない。店舗によっては、求人を続けているが、なかなか採用する人材がいない。	山口市
	3月は卒業・入学などがあり衣料関係では、多少の売上増となり、時計・宝飾関係も通常の月に比べると多少上向きで、他の業種は変わり映えが無かった模様である。今後の売上の増加については、皆、否定的である。	萩市
サービス業	山間部において廃業が多く、組合員の減少が続いている。主な原因は、人口減少と後継者がいないことであるが、経営者の高齢化も原因と思われる。	美容業
	陽気も良くなり、来店頻度も短くなっている様に思う。但し、組合員の脱退、廃業も多く組織力の低下、組合財政の問題が大きくなっている。	理容業
	中央団体から整備事業者の「整備需要動向調査」が発表されたが、今年上期は昨年下期より売上高の低下を予想している割合が増加し、多くの整備事業者が先行き不安を抱いている結果であった。	自動車整備業 山口市
	新車の販売が下がると、必ず連鎖して車体整備業も下火となる。従業員の高齢化により生産性が低下している。	自動車整備業 山口市
	下関市ではエリアで好不調が分かれている。	スポーツ・健康教授業
	施設ではばらつきはあるが、相対的には順調に推移。宿泊人員及び売上額は、対前年同月比105%であった。	旅館業 山口市
	年度末でもあり、ビジネス客が全体的に増えた模様。	旅館業 下関市
	売上は前年同月と変わらず、利用客数の減少に歯止めがからず、お土産等の仕入額も値上がり、収益の改善には至っていない。	旅館業 長門市
	今年の桜は見頃が長く続きそれなりの人出はあったようだが、花見や桜まつりがインセンティブイベントとなり夜の飲食につながることは本当に無くなってしまったようだ。少子化、高学歴の新社会人は団体を好まないの宴會等の売上に繋がらず、むしろ	飲食業

	悪化しているという。ただ、新規店舗の開業やリニューアルが若干増えてきたようで先行きに希望が見受けられるようになってきた。	
	3月中旬に気温の上昇日が数日続き、例年より若干早めに繁忙期に入った感じである。原油価格が下落したままなので利益率は上がっているが、集荷の点数は家庭洗濯機能の向上やファッション事情の変化に伴い下降を続けている。	普通洗濯業
建設業	山口支部の中電への工事申請は2月316件（前年は274件）。太陽光発電への申請86件、オール電化申請89件（前年は太陽光58件、オール電化107件）、LED街路灯への切替・新設申請29件（前年は21件）であった。	電気工事業
	公共工事・民間工事とも減少し忙しい筈の年度末に仕事が不足しており、応援先を探している同業者が増えている。技能者不足のため現場作業を少なくする目的で工場生産した部材を現場で組立てる工法が一段と進んでいる。	左官業
	西日本建設業保証（株）の取り纏めの県内工事件数・請負金額は、件数で9.6%減少、金額で5.2%増となっている。岩国防衛事務所の工事が多く、金額で38.2%の増となっており岩国の一人勝ち。しかし実際には岩国の業者は受注があまり伸びておらず、県外の手ゼネコンが潤っているだけか。中小企業は苦勞をしている。	土木工事業 柳井市
	前年度に比べ、若干工事件数が増加。	土木工事業 下松市
	28年3月の受注高は、前年同月比6%。今年度の累計は対前年比39%。	土木工事業 萩市
	平成27年度工事は無事終了、繰越の工事は無い。毎年のことではあるが、3～4月は入札も仕事も無い時期で、平成28年度の入札開始は5月半ばとなる見込み。燃料価格が下がって一時的に助かっていたが、この低価格が4月以降の入札単価に採用となった。3月の終わりからジワジワと燃料価格が上がって来ており、実際の給油時には、入札単価より高くなっており、あまり面白くない状況である。人員不足が続いているが、地方に仕事が無いため、東京や東北地方に人員が流れており、地方は益々人手不足となっている。	管工事業
運輸業	材質の軽量化により年度末にしては輸送量が伸びなかった。ドライバー不足の影響もみられ前年同月比で約0.5%の減少。若いドライバーの雇用のため給与を上げたくても不可能な現状である。燃料は5.3円の値下げとなっているが、運賃据え置きのまま	一般貨物自動車運送業 下松市

	<p>の現状は誠に厳しく、軽油引取税の減税を望む声が多い。</p> <p>自動車等輸出関連は引き続き前年割れ、燃料価格は安値で安定しており救いとなっはいるが、ドライバー不足は依然として解消しておらず先が見通せない。</p> <p>ドライバーの人員不足が続いている。求人広告や職安で募集をしても全く応募が無いので、現社員からの紹介でドライバーの採用を行っている。倉庫業は相変わらず忙しい模様で、単純に荷物を預かるだけでなく、検品を行ったり倉庫にお客様の詰所を設けたりして、可能な限りお客様の要望に応えることにより他社との差別化を図っている。</p> <p>燃料費が低価格で落ち着いているので、経費支出がかなり抑えられている。輸送量は下がる一方の中で、原油価格の低下が運賃の値下げを呼んでおり、荷主は運送業者の現状に理解が全くない状況である。下関港の荷揚量が減少傾向であるが、人員不足も続いており、仕事をこせない事が多くなっている。消費税据え置きはありがたいが、衆参同時選挙はありがたいくない。</p> <p>タクシーチケットの取扱金額は、前年比▲6.2%(平成28年2月1日～平成28年3月20日分)。2月1日～29日分は▲5.8%、3月1日～20日分は▲6.6%。2月は昨年よりも1日多かったので、実態はもっと厳しい状況。当組合の取扱いは、光市、下松市、周南市、防府市の地域だが、2月分については、周南▲7%、下松▲6%、光▲8%、防府市地区が▲2%で、組合員の全域で▲6.2%、地区外(員外)+19%(金額少)で合計▲5.8%です。防府地区の減少が少ないのは、前年度の減少が大きかったため下げ止まり気味といった所で、需要の伸びは感じられない。主要燃料であるLPGは、CP(通告価格)と為替に連動して変動するが、為替が少し円高になり、ブタン、プロパンのCPが下がり(前月353\$/トンが今月318\$/トン)購入単価は先月よりも更に5%安くなった。前年3月分も下降傾向だったが、前年同月比で18%安価で、車両代や整備費用が上昇しているなか、燃料費が下がるのは大いに助かっているもようである。消費税増税について反対意見が出ていたが、現在の景気情勢がたいへん厳しい状況であることは間違いなく、明るい将来展望が持てない状態では、設備投資や個人消費は減少する一方。アベノミクス効果は、地方経済や個人消費にまで届いていないと、言わざるを得ない。</p>	<p>一般貨物自動車運送業 防府市</p> <p>一般貨物自動車運送業 宇部市</p> <p>一般貨物自動車運送業 下関市</p> <p>一般旅客自動車運送業</p>
--	--	---

	相変わらず、荷役の伸びはなく、若干の減少。	港湾運送業
--	-----------------------	-------